

大学生と農山漁村との連携事例



吉備国際大学農学部(兵庫県南あわじ市)

実施主体名: 狩猟部

担当窓口

吉備国際大学農学部 狩猟部

URL

<https://kiui.jp/gakka/nougaku/product/>



活動内容

野生鳥獣による農作物被害を防ぐため、ICTセンサー箱罠の導入などによる捕獲活動とともに、緩衝地帯を設けるための間伐など、地元農業を害獣から守り、地域への貢献に取り組むプロジェクト。また、企業とも連携して大学内にジビエ加工施設を設置、捕獲したイノシシをジビエ食材として自ら処理加工し、ジビエ料理の開発や商品企画などの研究を行う。

更には、企業とも連携し、狩猟部部員が考案したメニューを企業が製造を請け負うなど、ジビエ保存食の商品開発やSNSでのアレンジレシピの紹介等も行っている。



きっかけ

淡路島においては、イノシシやシカなどによる獣害被害の多さが地域の農作物への甚大な影響や交通事故を誘発させるなど深刻な問題があった。このことから、学生による地域貢献の一環として、農作物被害の軽減、野生鳥獣の駆除や持続可能な利活用方法の実践を目的に、学生が主体となる活動を開始した。



展望

地域との協力の下、捕獲した個体を速やかにジビエ施設に搬入し、ジビエに利活用することで、地域への貢献を目指す。また、ジビエ食材を用いたメニューの考案や、ふるさと納税の返礼品など、新しいアイデアによってジビエの利活用方法を提案し、ジビエの魅力を発信していく。



設置した檻の様子



考案した商品



ジビエを使った加工品の試作品